

「DESIGN SETTA SANGO」(三郷町立野南・星田和彦代表取締役)は、同町の地場産業の雪駄に、伝統を残しながらも現代のニーズに合わせたデザインを取り入れ、アメリカやイタリアなど世界に展開している。「伝統と革新のブレンド」として作り出す数々の雪駄を県内よりも県外、海外へ売り込み「雪駄を履いて三郷町へ来てもらいたい」という星田社長に、その熱い思いや会社設立の経緯などをについて聞いた。

Made in 奈良

三郷町 DESIGN SETTA SANGO

星田社長は、「僕が代表にならなければ、一つの覚悟で500社を選びました」と語る。そこで、国が地域の名産品や特産物として500品目を選定し、世界へとアピールするプロジェクト「ザ・ワンドー・ファイブハンドレッド」に応募。応募あたり必要があったことがきっかけとなり、「DESIGN SETTA SANGO」として平成27(2015)年に法人化した。

その後、県からの勧めもあり、星田社長は「僕が代表にならなければ、一つの覚悟で500社を選びました」と語る。そこで、国が地域の名産品や特産物として500品目を選定し、世界へとアピールするプロジェクト「ザ・ワンドー・ファイブハンドレッド」に応募。応募あたり必要があったことがきっかけとなり、「DESIGN SETTA SANGO」として平成27(2015)年に法人化した。

伝統と時代のニーズ バランスを見極める



星田 和彦さん
代表取締役

現在の社名「DESIGN SETTA SANGO(デザイン雪駄 三郷)」は、星田社長が平成21(2009)年から三郷町で経営するカフェの3周年イベントの名称を引き継いだもの。常連客や地元への恩返しをと思い、町の地場産業の雪駄を、イベントを通してもらいたいと地元の雪駄職人らとコラボ。「せっかくなのでここでしか買えないものを」と、オリジナル商品を作り販売した。「オリジナルのものは相場よりも販売価格が少し高くなったんですが、すぐに完売になりました。翌年に2回目を開催したんです。が、その際には『今日は売り切れる前に』という思いからか、初日から行列ができるほどになりました。そこまで盛況になったことが話題を呼び、さまざまなお問い合わせがあり、星田社長は「また」と星田社長は当時振り返る。

その後、県からの勧めもあり、星田社長は「僕が代表にならなければ、一つの覚悟で500社を選びました」と語る。そこで、国が地域の名産品や特産物として500品目を選定し、世界へとアピールするプロジェクト「ザ・ワンドー・ファイブハンドレッド」に応募。応募あたり必要があったことがきっかけとなり、「DESIGN SETTA SANGO」として平成27(2015)年に法人化した。

先に海外で展開、話題集めて「逆輸入」感を

星田社長は「例えお洒落なものだったとしても、履き心地が良くなかったら、もう一度履きたい」という気持ちになりません。決して「奇抜なものを作れば伝統産業としての形がなくなってしまうためその良さが消える。かといって伝統産業を出しきり入れた新たな雪駄を生み出す。」と語る。その時のアームとして終わるものにはしたくないんです。そのため、うちの商品を卸してほしいというところには必ず『和装履物のゾーンに置かず、普段着やミニユールなどと一緒に並べてもらえるなら』という条件を付けています」と話す。

同社は、これまでミラノやニューヨークなど海外で多く展開している。その理由は「まずは外で雪駄を広め、そこからの話題で奈良に触れたかった。そういうこともあり、奈良県や大阪府、京都府で販売するよう、まず海外で展開をしました。そこから天平模様を取り入れるといった、奈良に焦点を当てたデザインの雪駄を出し、逆輸入感を出した。「雪駄を履いて三郷町へ来てもらいたい」と星田社長は、先を見続けた経営戦略を語る。



○設立=平成27(2015)年7月
○代表取締役=星田和彦
○資本金=500万円
○事業内容=軽装履物(雪駄)の企画・製造・販売
○本社住所=三郷町立野南1-24-5
○電話番号=0745(27)4574



<https://designsetta.jp/>

ありますので、実際に履ける場所を色々な所に作っていきたいです」と意気込む。

長。現在では、地元の学校で生徒らに自分たちが取り組む地場産業での新しい試みを講義として伝え、また共に発信している。『雪駄といえばこの履物』と、海外でも通じるよにしたいということを目指の一つに掲げています。

からになりますが、自社のサイトで私たちのブランドの世界観を知っています。今後はそれを、ヨーロッパや南米と拡げ、それが残した上で、時代に合ったニーズやデザインを取り入れた新たな雪駄を生み出す。

た上で、直接注文してもらいたいと考へています。今後はそれを、

からになりますが、自社の

サイトで私たちのブランドの世界観を知っています。今後はそれを、

ヨーロッパや南米と拡げ、

それが残した上で、時代に

合ったニーズやデザインを取り入れた新たな雪駄を生み出す。

た上で、直接注文してもらいたいと考へています。今後はそれを、

ヨーロッパや南米と拡げ、

それが残した上で、時代に

合ったニーズやデザインを取り入れた新たな雪駄を生み出す。

奈良信用金庫



理事長 田村 好美

本店 大和郡山市南郡山町529の6
TEL (0743)54-3111(代)



大和信用金庫

理事長 森川 善隆

本店 桜井市桜井281の11
TEL (0744)42-9001(代)



竜中央信用金庫

理事長 高田 知彦

本店 磯城郡田原本町132の10
TEL (0744)33-3311(代)